

東北考古学の

礎

いしずえ

Anniversary
100th

文学部創立百周年
Faculty of Arts and Letters

— 東北大学奥羽史料調査部から現在へ —



1933年(昭和8)11月
青森県久栗坂(山野峠)遺跡を発掘する喜田貞吉

期 日

2022年
9/1(木)から12/23(金)

場 所

東北大学史料館 2階展示室
仙台市青葉区片平2-1-1

開催
時間

平日 10:00~17:00
土日祝 10月1日(土)~12月4日(日)
10:00~16:30のみ開館

主催

東北大学 文学研究科、
埋蔵文化財調査室、史料館

後援

村田町教育委員会

【問合せ】 東北大学埋蔵文化財調査室

TEL 022-217-4995

E-mail maibun@grp.tohoku.ac.jp

観覧
無料



礎 いしずえ

— 東北大学奥羽史料調査部から現在へ —



▲ 片平キャンパス文化財収蔵庫の隣に移築された宮城県名取市経ノ塚古墳の石棺

この展示では、東北大学創立 115 周年、文学部創立 100 周年を記念して、その草創期に活躍した奥羽史料調査部 (1925 年設置) の喜田貞吉のコレクションを中心に展示します。とくに先史時代に関する考古資料や当時の様子を伝えるガラス乾板に記録された古写真を公開します。その上で、現在の考古学研究室や埋蔵文化財調査室の研究活動の様子を伝え、東北大学草創期より続く研究の伝統について紹介します。

また、2021 年度に宮城県村田町教育委員会と文化財の研究と活用に関する連携協定を締結し、村田町や住民を含めた地域と共に発掘調査等の活動を実施しています。その活動の中で行っている最新の科学的な研究や発掘調査の成果を踏まえ、現在の研究の最前線を紹介します。

展示内容

① 法文学部の黎明と奥羽史料調査部の設立

- ・ 蒐集された資料とその現代的な意義
- ・ 画像 (ガラス乾板) 資料からみた奥羽史料調査部の活動



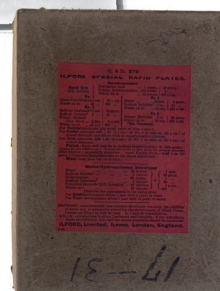
▲ 青森県宇鉄遺跡出土土器 (縄文時代: ガラス乾板より)

② 引き継がれた考古学研究の伝統

- ・ 先史考古学における発見の歴史
 - 文学部考古学研究室の活動 -
- ・ キャンパス内に眠る遺跡
 - 埋蔵文化財調査室の活動 -



◀ 川内南キャンパス (仙台城二の丸地区) 出土南蛮土人形 (江戸時代)



▲ ガラス乾板の箱

③ 地域と共にある考古学研究

- ・ 村田町姥沢遺跡の発掘調査
 - 地域における考古学研究 -
- ・ 科学的技術が解き明かす先史時代



2021 年度
宮城県村田町姥沢遺跡の発掘調査 ▶